

2023/12/30
2023/12/30

リトルハウス通信

12月9日、板橋区立グリーンホールで行われた「障がい者記念週間行事」にリトルハウスとして参加致しました。今月のリトルハウス通信では、その模様をご報告させていただきます。

12月3日から9日までの1週間は、障害者基本法、第9条において「障害者週間」と定められています。これを記念して毎年12月に板橋区立グリーンホールにて、コンサート・作品展示・区内の障害者団体による自主製品販売などを行う行事を「障がい者記念週間行事」といいます。その中でリトルハウスも自主製品販売で出店し、来訪された方々に沢山の商品をお買い上げいただくことができました。一番売れた商品はリトルハウスの利用者であり、画家でもあるAさんが描いたポストカードです。Aさんのイラストは主に東京の街を描いたものが多く、情感豊かに街々が表現されていることが特徴だと私は思います。

昨年の障害者記念行事でもAさんのポストカードを販売したのですが、そこでポストカードを購入したお客様から「昨年購入したポストカードは部屋に飾っています。また違う作品を買いに来ました」と、今回も新たな作品を購入して下さった方もいました。

そもそも「障害者週間」の趣旨は「障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加すること等を促進するため」のものと謳われています。Aさんは「イラストを描いて自己表現」を行い、地域住民の方が「イラストを気に入り部屋に飾る」ということは、「作品」が媒介となり、地域住民の方々と（直接的ではないものの）気持ちの部分で、緩やかに、しかし深いつながりを生む行為といえるのではないのでしょうか。今回Aさんのイラストを販売しながらつつらつつらと思った次第です。 （鈴木）

